

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

<編集発行>

〒194-0011 町田市

成瀬が丘 1-14-12

サンホワイト E103-13

自宅 042-795-7361

FAX 042-795-2726

yoshidaben@gmail.com



クリーンセンターのテニスコートの運営

今回、「クリーンセンター屋上のテニスコートの運営について」を尋ねました。総合体育館の指定管理者を市外業者に変更して以降、3度目の一般質問になりました。利用者の声はどのように反映されるのかを問うものでした。一般に有料で貸し出しをされるものですが、施設改善に関しては、原則40万円以下のものは指定管理者において対応し、40万円の以上ものは町田市において負担するというものでした。コート面に張ったカーの人工芝に関しては、費用の面から町田市が負担する対象と理解しました。利用者の意見が多くなれば、指定管理者から町田市にその必要性が伝えられるでしょう。また、夏場(あるいは、高温時)には管理者で傘を貸し出しているという説明でしたが、施設が広いことで、壁面にテントを取り付ける方法の検討を求めました。



それ等の改善要望に関して、現在、口頭の回答、あるいは、管理事務所の掲示板(短期に取り換え)に掲載する方法から、指定管理者のHPに切り替えが必要だと求めました。

すずかけ台駅前広場管理と噴水

今回の一般質問で、すずかけ台広場の管理と噴水の利用を尋ねました。東急田園都市線すずかけ台駅前の広場は、町田市の所有か、東急の所有かの再確認をしました。それは、町田市の職員で、その場所が東急のものであると説明したものがいるということを経験した市民の体験で紹介した次第です。東急から移管したものだという回答でしたので、それは、東急が広場の再開を計画した際、緑に包まれた広場を残してほしいという住民要望があり、関係議員と住民が協議し、町田市が別の場所と交換を図る方法で、広場の所有と管理は町田市が行うということを決着をみたものです。



また、この緑地の中に噴水があったのですが、未利用になっています。町田市は、その再開の考えはないというものでしたが、再利用する場合の修復費用の簡便な算出を求めました。せつかく水と馴染む機能が設置されているのであるから、低コストで再利用ができるなら、その方法を検討すべきと提案しました。

◎所属会派の名称はシンプルに「無所属」とし、3名の議員で構成しています。

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を誂込
して送信



好評インターンシップは、現在、第50期生がスタート

町田メロン水耕栽培法の拡大とつがる市

今回の一般質問で、町田市の企業(大浩研熟株式会社)が開発した水耕栽培システム=町田市新農法)をメロンの大産地(全国3位)である青森県つがる市が導入し、一般販売に至りそうだが、他の状況はと尋ねました。



つがる市東京事務所訪問2019年のインターン生を同行した時の写真を使用しました

答弁では、埼玉県越谷市、栃木県那須塩原市、福島市、海外ではアジア諸国に実績があるというものでした。その後、私が更に調べてみると、行政が地元産業の発展の立場で導入推進しているのは青森県つがる市が一番大掛かりで、メロン各品種の水耕適合性、冬季栽培の有効性、補光照明灯数別試験、肥料濃度別試験などを順次重ねていることがわかりました。そのつがる市では、ガラス温室に隣接の温泉水を引き、冬季の暖房にも利用していることもわかりました。通年栽培、販売の筋道を観光・ブランド戦略課が大学、県、システムメーカーの協力を得て、その成果が大きく実ることを願っています。

インターン体験記⑧上野竜空

今回は、「町田市地域活動サポートオフィス」に伺った際のご縁あって、「コロナ困りごと相談会@まちだ」を見学させて頂きました。

主にコロナによって生活環境が変わってしまった方を対象に労働や法律などの観点で相談できる窓口を設置していたほか、生活必需品の無料配布も行われておりました。

11時から受付を開始した本イベントは、土曜日のお昼ということもあって、受付開始後すぐに賑わいを見せ、多くの方が集まっていました。印象的だったのは、比較的年齢層が高い方が集まっていた点でした。

ビラを配っていた地域の地域性に起因しているとも考えられますが、興味深く感じております。

一方で、運営側には、ボランティアとして参加している大学生の方々もおおりその若々しさから、イベントの活気を、より強調できている印象を受けました。



中央大学4年生 上野竜空(第50期研修生)

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年4月末より50期生が研修を開始しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎次期インターンシップの第50期生となりますが、現在、1名参加中、他にも受付中です。